福岡のまちと共生する屋台へ

屋台との共生のあり方研究会 提言概要

屋台の現状

【屋台の課題】

- ① 市民・地域住民の評価（課題面）
- ② 地域住民や周辺店舗の理解が得られていない
- ③ 未完了の施策がある

【屋台の効用】

- ① 市民、観光客の評価（効用面）
- ② 観光資源としての経済効果
- ③ にぎわいや人々の交流の場の創出

【方向性①】

屋台営業者や行政に対する不信感の払拭

【将来像①】

市民、地域住民、観光客に
理解され愛される屋台

【福岡市に求める主な取組み】

- 人員増員による体制強化や警察等との連携強化による指導徹底・違反に対するペナルティ
- 条例制定等によるルールの変更の明確化
- 市道占用料などの負担額の見直し・調整
- 模範屋台の指定制度の導入

【屋台営業者に求める主な取組み】

- 全屋台営業者によるルール遵守・地域貢献の取組み宣言
- 取組みの具体策の策定と遵守状況の検証

【方向性②】

観光資源としての屋台の活用

【将来像②】

観光資源として福岡市をPR
することができる屋台

【福岡市に求める主な取組み】

- 屋台の効用（経済効果、PR効果等）の分析
- イベントなど、集客効果やPR効果を積極的に活用するための施策の実施

【屋台営業者に求める主な取組み】

- イベントやPRへの屋台営業者の協力や仕組みづくりの検討
- 外国語のメニュー表記など、観光客のおもてなしのための取組み

【方向性③】

公共空間における「都市の装置」としての
自覚と責任

【将来像③】

「都市の装置」としての役割を果たし、
まちの魅力を高める屋台

【福岡市に求める主な取組み】

- 「都市の装置」としての屋台の公益性の整理、市として位置づけ（条例等）の検討
- 公共空間の有効活用によって、にぎわい等を創出する方策の検討

【屋台営業者に求める主な取組み】

- 公共空間の利用にあたっての屋台営業者の責務として、地域清掃、観光施策への協力、ルール遵守の実施

【方向性④】

福岡のまちと屋台の共生

【将来像④】

福岡のまちと共生する持続可能な屋台

【福岡市に求める主な取組み】

- 屋台共生対策本部（仮）の設置など、総合的、全庁的な体制の構築
- 屋台に関する専門部署の設置と施策の実施状況の定期的な検証
- 福岡市の公益に資する存在とするための、屋台の位置づけ（条例等）の検討
- 市民の理解などを前提とした持続的な制度の構築（「原則一代限り」の再構築）
- 適正利用を前提に、営業時間や屋台の規格等の見直しの必要性を含めた再検討

【屋台営業者に求める主な取組み】

- 皆に理解され、観光資源や「都市の装置」としての効用を発揮するための取組み
- 屋台文化の継承、時代や利用者のニーズに合わせた取組み